

令和3年10月7日

文部科学省初等中等教育局長 殿

全国連合小学校長会長 大字 弘一郎

新たな新型コロナウイルス感染が続く中での小学校における対応についての要望書

東京都、大阪府をはじめとする19都道府県に発出されていた「緊急事態宣言」が、9月30日に解除されましたが、依然として、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立たない状況が続いております。各学校においては、子どもたちの成長と安全を願い、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、少しでもよりよい学習環境の中で子どもたちが学習を行えるよう最善を尽くしております。

しかしながら、夏季休業明けの頃から、新型コロナウイルスの第5波の感染が拡大し、特にデルタ株による子どもへの感染の恐れが専門家から指摘されるようになりました。そのことから分散登校やオンライン授業の実施等学校での感染を防ぐ対応が求められ夏季休業前とは学校を取り囲む状況が一変し、各学校ではその対応に追われながらもその実施に努めてきました。

このような状況を踏まえ、全国連合小学校長会では、9月上旬に「夏季休業明けの学校の対応（オンライン授業等）」に関わる緊急調査を実施しました。今回、その結果をもとに、「今後の新型コロナウイルス感染が続く中での小学校における対応について」の要望をまとめました。

貴職におかれましては、新型コロナウイルス感染から子どもたちを守り、よりよい教育環境の下で学習保障に努めている学校の取組についてご理解をいただき、格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

記

1 分散登校やオンライン授業の対応等で多くの教職員の負担感が増しています。早急に、改善に向けた人的及び物的な支援を図られたい。

夏季休業明けの学校再開では、新型コロナ対応の健康観察・感染防止対策（消毒作業も含め）の徹底、欠席児童への対応、分散登校への対応、オンライン授業に向けた準備等が求められ、教職員の心身両面への負担はかなりのものがありました。また、通常登校、分散登校等登校の仕方、1日の時程の在り方、給食の有無、オンライン授業の実施等は、自治体や学校によって様々であり、子どもの学習習熟の違いに格差が見られました。

担任等が子どもの指導に専念できるよう、学習指導員等教職員の業務を補助する人員の確保や登校の仕方についてある程度の統一性の確保、インターネットやメールを使った欠席連絡方法・プリント配付方法等の費用負担等の支援をお願いいたします。

2 小学校におけるオンライン授業に関するモデルケースの例示、教職員への研修の充実及びICT支援員等専門スタッフの配置を図られたい。

子どもへのタブレット端末の配付と学校等の通信環境を整えただけでは、双方向のオンライン授業はすぐには実現しません。小学校では子どもたちのタブレット操作の技量の差やオンライン授業の教職員の指導力の差も指摘されています。そのため、子どもの学習の習得状況や学習評価について不安を危惧する声があります。

タブレット端末の導入から活用までのマニュアルや授業の実際の具体例等を明示したり、オンライン授業等についての教職員の研修の充実を図る取組を進めたりするとともにGIGAスクールサポーターの増員等、オンライン授業の充実に向けた専門のスタッフの配置をお願いいたします。

3 学校の通信環境等の整備が追いつかず、タブレット端末を生かした学習活動に十分に活用しきれず自治体により格差も生じています。早急に、各学校の通信環境が整うよう支援を図られたい。

G I G Aスクール構想の機器等の整備については、各自治体の取組により教育コンテンツ、ネットワーク、プラットフォーム構築等が進んではおりますが、整備状況については自治体間の格差が見られます。とりわけ、今回のオンライン授業等での取組で、校内W i - F i環境の脆弱性が指摘されネット環境が非常に悪いということがわかりました。また、教職員への端末が未配備な学校もあります。自治体によっては改善に取り組んでおりますが、教職員も、子どもたちも「接続等のストレス」を抱えている状況が見られます。

文部科学省が、令和3年9月3日にデジタル庁、総務省、経済産業省と共同でまとめた「G I G Aスクール構想に関する教育関係者へのアンケート結果及び今後の方向性について」は、G I G Aスクール構想に関する課題が的確に捉えられており、それに対する改善策が示されています。その新たな施策が、早期に実現するよう関係省庁と連携した対応をお願いいたします。

4 学校だけではなく、家庭の通信環境等も不十分がところも多く、家庭における学習においても格差が生じています。家庭の通信環境整備への支援を図られたい。

家庭の経済的格差が子どもの学力格差につながると言われておりますが、I C T化が進む中で、ますますその格差が広がっていると捉えています。多くの自治体で、家庭の通信環境を整えるための費用は保護者負担になっている現状で、タブレット端末を持ち帰っても十分に活用できない児童がいます。また、タブレット端末の家庭への持ち帰りを認めていない自治体もあります。

G I G AタブレットのL T E化（4 G、5 Gなど）や通信料を無料化するなど、通信環境が整わない家庭に対しての援助、サポート体制の確立をお願いします。また、タブレット端末を持ち帰った際の破損や紛失等については、現状では家庭の負担となっています。併せて、タブレット端末の補償制度を整えるようお願いいたします。

5 デルタ株等新たな新型コロナウイルスの感染拡大が見られます。関係機関とも連携し、新たな、基準やガイドライン等の見直しを図られたい。

今回の分散授業やオンライン授業の実施により、標準授業時数の確保や学習内容の習得などについて、地域間格差が問題となっています。また、現在、示されている新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン等が、デルタ株等新型のウイルスへの対応として十分であるか不安の声があります。全ての学校そして子どもたちに、同水準の教育を提供できるよう、専門家や大学機関等連携し、随時ガイドラインの見直しをお願いいたします。

6 新型コロナウイルスの感染状況について一部報道により市民や保護者の不安が募り、学校での対策について理解が得られにくい状況にあります。学校は安全だというメッセージの発出などの対応を図られたい。

デルタ株による感染拡大で10代以下の子どもにも感染が広がりました。そして、保育園等でのクラスターの発生から、学校においても同様なことが起きる恐れあるとの報道がなされ、保護者の中にはわが子を登校させるのは怖いなどと不安を持ち、混乱が深まっている状況が見られます。

夏季休業明けで学校が再開しても、子どもの感染の増加や大きなクラスターが発生していないのは、学校のきめ細かな対応と不断の努力によるものであると考えます。今一度、学校が行っている感染症対策や教職員の努力により「学校は安全である」という文部科学大臣から強いメッセージとして発出していただき、国民の安心につながる取組をお願いいたします。